

令和2年度 高槻市介護保険事業者協議会 事業報告

高槻市介護保険事業者協議会役員名簿

役職名	氏名	法人名	所属部会
会長	北元 正志	社会福祉法人 真昌会	
副会長	鈴木 みどり	株式会社 トップコーポレーション	
会計	川北 哲也	社会福祉法人 松輪会	
理事	池田 浩之	社会福祉法人 高志会	地域包括ケアシステム部 会部会長
理事	石神 洋一	特定非営利活動法人 たかつき	在宅サービス部会部会長
理事	三藤 祐子 川上 直美	社会医療法人 愛仁会	施設サービス部会部会長
理事	坂本 貴政	社会医療法人 仙養会	居宅介護支援部会部会長
理事	羽田 浩朗	社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団	介護人材育成部会部会長
理事	河本 剛志	社会医療法人 祐生会	認知症支援部会部会長
理事	田中 章徳	特定非営利活動法人 高槻まごころ	防災対策部会部会長
監査	向井 学	有限会社 アクティ	
監査	上田 拓	社会福祉法人 恭生会	

令和2年度 基本方針

令和2年度におきましては、未曾有の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会変化の中で、我々介護事業者の健全な事業継続が損なわれることのないよう、情報共有を図り、助け合える組織づくりを模索して参ります。また、一昨年の大阪北部地震等での災害に加え、今回の感染災害等への対応力強化のため防災対策部会を新たに立ち上げ、進めて参ります。更に、これまで同様、高槻市における地域包括ケアシステムの推進に協議会として協力していただけるよう医療・介護・地域住民等との連携強化と協働について検討・実践等をおこなうとともに、事業者の質の向上のための取組みや、介護人材確保につきましても引き続き取り組んでいきます。

令和2年度 目標

1. 新型コロナウイルス感染症拡大、大阪北部地震等での課題をふまえ、協議会内の連携強化及び役割の明確化等災害対策を強化していきます。
2. 地域包括ケアシステムの構築の推進のために、医療関係団体、及び地域関係団体等との連携強化と協働について検討・推進していきます。
3. 協議会加盟事業者のケアの質の向上等のために、「高槻市研究発表会」等の各事業者の質の高い活動等について、協議会内のみならず広く市民への情報発信にも取り組んでいきます。
4. 介護人材確保の取組みをより推進するために、行政担当課との協議、及び連携を強化していきます。

事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応に迫られる一年となりました。総会については、初めて書面決議で行い、また理事会等では ZOOM を用いたオンラインでの会議を随所に行いました。当協議会の活動が感染拡大へとつながらないように細心の注意を払いながら、やらなければならないことを選別しながら実行しました。また、やった方が良いものでも、できる方法をあきらめずに考え、できる限り取り組みました。その一年の取り組みの総決算として、実践報告会をオンラインで開催いたしました。

目標1につきましては、必要に応じて ZOOM 等によるオンラインでの会議や研修に切り替え、MCS 等の ICT を用いた情報共有を図り、連携強化に取り組みました。また、防災対策部会を新たに立ち上げ、関西大学社会安全学部近藤研究室と連携し、研修を行うなど災害対策強化にも積極的に取り組みました。

目標2につきましては、前年度に続き、モデル事業としての「上牧セーフティネット会議」をコロナ禍でも可能な範囲で開催し、諸団体と連携して地域課題の共有を行いました。

目標3につきましては、「高槻市研究発表会」はコロナ禍で開催ができなかったものの、各部会や空木等を通して、先駆的取り組み等を会員間で共有いたしました。また、市民にも当協議会の情報発信に努めました。

目標4につきましては、第8期高槻市介護事業計画策定にあたり、長寿介護課と協議し、当協議会の意見を一部取り入れてもらいました。また、産業振興課と協議し、ワークサポート高槻の相談ブースを当協議会で借りられることとなりました。

月別活動報告

	活 動	内 容
4月12日	理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門部会規約の変更について 2. 令和元年度事業報告・令和2年度事業計画について 3. 令和2年度総会の開催について 4. 新役員の役割について
5月 メール書面会議	理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度総会の開催について
6月 書面表決	総会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総会
6月23日	理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度総会の結果について 2. ZOOM 調査について 3. 介護保険最新情報 vol842 の対応について 4. アウトリーチ型研修の助成申請書について
7月14日	理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. ZOOM 契約について 2. 協議会内でのコミュニケーションツールについて
8月11日	理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部会・研修会の開催方法等について 2. 市内事業所で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生する等した場合の対応について 3. Medical Care Station の使用について
9月8日	理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事会の開催について 2. 防災備蓄品について 3. ZOOM 研修について（報告） 4. 新型コロナ関連情報共有について 5. MCS 活用について 6. 広域連携について 7. オンライン環境アンケートについて
10月13日	理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護フェスタ・研究発表会の開催について 2. ZOOM調査結果について
11月	介護のおしごとフェスタ	中止
11月10日	理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. コノミヤのフードバンクシステムへの参加について 2. 協議会会員減少傾向について 3. MCS 案内 会員への送付について
12月	理事会	中止

1月12日	理事会 (ZOOM開催)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 退会届 様式変更について 2. 実践報告会 開催について 3. 新型コロナウイルス感染症の発生状況等についての情報共有の在り方について 4. 規約『理事に欠員が出た場合』について 5. 防災備蓄品について
2月	理事会	中止
3月9日	理事会 令和2年度 実践報告会 (どちらも ZOOM 開催)	<ol style="list-style-type: none"> 1. コロナ禍における事業所間の協力体制について 2. 令和3年度入会継続確認について

定例理事会 : 毎月 第2火曜日 14:30~

令和2年度 居宅介護支援部会 事業報告

部会役員名簿

役職名	氏名	法人名	備考
部会長	坂本 貴政	社会医療法人 仙養会	
副部会長	福田 裕一	株式会社テイクコーポレーション	
副部会長	古川 幸代	社会福祉法人 恭生会	
幹事	山本 昌史	アイケアライフ 株式会社	
幹事	原地 由里子	社会福祉法人 高槻市社会福祉事業団	
幹事	浜根 千絵	社会福祉法人 高志会	
幹事	宮脇 郁子	社会福祉法人 高槻ライフケア協会	
幹事	志場 幸子	社会医療法人 愛仁会	
幹事	徳留 規子	社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団	
幹事	徳田 智浩	株式会社トップコーポレーション	

事業報告

令和2年度は、コロナ禍において幹事会・部会とも通常の動きが出来ず協議会全体としても手さぐりでの活動となった。幹事会はほぼ全てオンラインで行い、研修計画も大幅に修正。ICT活用、コロナ感染症対策といったタイムリーなテーマを扱った研修を企画。また今後の状況を見据え、部会全体としてのMCSグループを作成。現在加入数は約半分程であり、実用化にまでは至っていない。

月別活動報告

	居宅介護支援部会活動	内容
5月	オンライン幹事会開催	コロナ禍における情報共有
7月	オンライン幹事会開催	コロナ禍における情報共有
8月	幹事会開催	今年度研修計画・情報共有
9月	幹事会開催	今年度研修計画・情報共有
10月	幹事会開催	今年度研修計画・情報共有
11月	居宅部会開催（リアル+オンライン）	「介護現場でのICT活用」参加者25名
12月	オンライン幹事会開催	今年度研修計画・MCS活用
1月	オンライン幹事会開催	今年度研修計画・MCS活用
2月	オンライン幹事会開催	今年度研修計画・情報共有・MCS活用
3月	居宅部会開催（オンライン）	「コロナの今とこれから」参加者22名

令和2年度 在宅サービス部会 事業報告

部会役員名簿

役職名	氏名	法人名	備考
部会長	石神 洋一	特定非営利活動法人たかつき	
副部会長	砂 亮介	株式会社 123	
幹事	向井 学	有限会社 アクティ	
幹事	田中 宏樹	社会福祉法人 高槻市社会福祉事業団	
幹事	濱田 香澄	社会福祉法人 高槻ライフケア協会	
幹事	森谷 和代	株式会社 テイクコーポレーション	
幹事	浅井 智子	株式会社 トップケア	
幹事	荒木 直人	株式会社 トップコーポレーション	
幹事	小笠 孝治	株式会社 ケンモク	
幹事	杉谷 慎二	アイケアライフ 株式会社	

事業報告

コロナの影響でいったん動きが止まったが、5月にはZoomで幹事会を開き、状況把握のために部会員にアンケートを取ることを決定。

アンケート結果の集計を部会員と情報共有しながら、在宅サービス部会に必要な研修会を企画。当初予定していた第1回部会の時期には遅れたが、8月24日には職員のコロナ感染が明らかになり、事業を一時ストップした事業所からのZoomによる体験共有の発表を行い、他部会からも多くの参加があった。

その後はコロナ対策方法を知りたいというニーズに応えるために、11月には医療現場の専門家の方と福祉指導課担当者を講師に招いて研修を開催した（Zoom）。

2月には同じ立場の事業者同士が情報共有できる機会を設けることを目的として部会を開催。グループ討議を通して活発に意見が交わされた。

令和2年度はすべてコロナに関する内容の部会を実施した。

また「在宅事業所にはコロナに関する情報がタイムリーにまわってこない」という意見が複数の事業所から聞かれたため、SNSを活用した情報共有の仕組みを作ることとし、協議会で採用されているMCSを活用した在宅部会の情報共有の場を作った。現在登録しているのは20事業所程度。コロナ関連情報をやり取りすることを目的に活用を考えていたが、情報の行き来はあまり活発ではない。

月別活動報告 ※会合はすべて Zoom で開催

	部 会 活 動	内 容
令和2年 5月	第1回幹事会	コロナ禍で部会運営をどうするか？
5月	アンケート アンケート結果報告	部会員にコロナの影響アンケートを実施
6月	第2回幹事会	アンケート結果を見て、次回研修について検討
8月	第3回幹事会	8月24日部会について
8月	第1回部会	「新型コロナ どう対応？」 つむぎの家 高井理事長から事例提供 参加者33名（他部会からの参加もあり）
9月	第4回幹事会	第1回部会反省 第2回部会の計画
11月	第2回部会	「患者・利用者と地域医療をつなぐ在宅介護の役割について」 講師：鳴美英智氏（愛仁会高槻病院副看護部長） 橘田和人氏（高槻市福祉指導課） 参加：30名
12月	第5回幹事会	第3回部会の打ち合わせ
1月	第6回幹事会	第3回部会の打ち合わせ
令和3年 2月	第3回部会	2月16日開催「情報共有」 グループセッションを中心に開催 23名参加
3月	第7回幹事会	第3回部会反省と次年度計画

令和2年度 施設サービス部会 事業報告

役員名簿

役職名	氏名	法人名	備考
部会長	三藤 祐子 川上 直美	(社医) 愛仁会	令和2年10月～
副部会長	桑原 広志	(医) 杏仁会	
幹事	長谷川 健二	(株) 光真	
幹事	早川 勝	(医) 健和会	
幹事	宮本 壮登	(医) 東和会	
幹事	塚本 康二	(福) 恭生会	
幹事	瀬古 雅子	(福) 聖ヨハネ学園	

事業報告

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、感染予防対策を講じ、利用者の安全を守ることに各事業所各施設・事業所での対応に尽力した年であった。予定していた施設見学等の活動は全て中止し、部会長の途中交代もあり、施設サービス部会全体での活動ができなかった。在宅サービス部会の研修への参加や行政からの情報発信・共有にとどまった。3月には、報酬改定説明会を企画するも調整ができず開催には至らなかった。令和3年度は、ZOOMによる会議の開催や介護報酬改定関係(LIFE等)の情報交換などコロナ禍でもできることを増やしていきたい。

基本方針

会員の介護サービスの知識・技術の向上を図り、適切な利用者支援につなげ、介護サービスの質の向上に寄与する。

部会活動

	施設サービス部会活動予定	内容
6月	部会・幹事会・施設見学	→実施できず
9月	部会・幹事会	→実施できず 協議会研修等情報提供のみ
11月	部会・幹事会・施設見学	→実施できず 協議会研修等情報提供のみ
2月	部会・幹事会	→実施できず 次年度事業計画等メール確認

令和 2 年度 地域包括ケアシステム部会 事業報告

令和 2 年度 役員名簿

役職名	氏 名	法人名	備考
部会長	池田 浩之	社会福祉法人 高志会	
副部会長	田岡 勝洋	社会医療法人 愛仁会	
副部会長	進藤 利香	社会福祉法人 聖ヨハネ学園	
幹 事	中西 真一	社会医療法人 祐生会	
幹 事	福井 梨恵	社会福祉法人 恭生会	
幹 事	向井 豊	(有) アクティ	
幹 事	竹中 敬	医療法人 杏仁会	
幹 事	杉本 和彦	(有) 心友	
幹 事	久保 葉子	社会福祉法人 高槻市社会福祉事業団	
幹 事	鈴木 みどり	(株) トップコーポレーション	
幹 事	大島 理絵	社会医療法人 愛仁会	

部会員 43 事業所 (令和 3 年 3 月 31 日現在)

令和 2 年度 部会活動

今年度の事業計画では年 2 回の部会研修を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染拡大の影響で年 1 回の実施となりました。集合での研修開催は困難な状況でもあった為、第 1 回の部会研修のテーマは『Zoom の使い方研修』とし居宅部会と合同でオンラインで行いました。研修には 13 事業所 26 名が参加し、実際に Zoom を使用しながら基本的な使用方法と応用を学びました。今年度はコロナ禍で最小限の活動となってしまいましたが、オンライン研修で地域包括ケアシステムの構築に向け情報交換・交流に取り組みました。

月別活動報告

	地域包括ケアシステム部会活動	部会活動内容
4 月	・幹事会	令和 2 年度事業計画について
8 月	・幹事会	9 月部会研修について

9月	・部会	研修（居宅支援部会合同） 『Zoomの使い方研修』 14時00分～15時00分 『Zoomの基本的な使い方』 15時00分～15時30分 『Zoomの実践応用』 参加人数：26名
----	-----	---

令和2年度 認知症支援部会 事業報告

部会役員名簿

役職名	氏名	法人名	備考
部会長	河本 剛志	社会医療法人 祐生会	
副部会長	大島 理絵	社会医療法人 愛仁会	
副部会長	市丸 直樹	特定医療法人 健和会	
幹事	福井 梨恵	社会福祉法人 恭生会	
幹事	椿 和美	社会福祉法人 恭生会	
幹事	高橋 由輔	医療法人 杏仁会	
幹事	藤井 さちみ	クレドール(株)	

令和2年度部会活動

認知症ケアについての研修をオンラインで行い学ぶ機会を作った。
事業所内の認知症ケアの課題について研修時にオンラインで意見交換を行う。

令和2年度基本方針

高槻市において安心して生活することができるように、
高槻市の介護施設・事業所の認知症ケアの質の向上を目指す。

月別活動報告

開催日	部会活動	主な活動
7月21日	幹事会 (市民会館南小会議室)	・今年度の活動詳細の検討
9月16日	幹事会 (市民会館南小会議室)	・オンライン研修についての検討
11月24日	幹事会 (市民会館南中会議室)	・12月オンライン研修についての詳細決定
12月7日 ～ 12月11日	認知症ケア研修 (オンライン Zoom)	・認知症ケア研修 × 5日間 テーマ、講師は、日替わり 参加のべ人数：約200名

令和2年度 介護人材育成部会 事業報告

部会役員名簿

役職名	氏名	法人名	備考
部会長	羽田 浩朗	社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団	
副部会長	福井 梨恵	社会福祉法人 恭生会	
副部会長	小林 信三	株式会社 サントラスト	
幹事	砂 亮介	株式会社 123	
幹事	川口 裕子	医療法人 杏仁会	
幹事	中村 光久	特定非営利活動法人 高槻まごころ	
幹事	永田 さやか	社会福祉法人 高槻市社会福祉事業団	
幹事	土井 景子	社会福祉法人 高槻ライフケア協会	
幹事	宮田 律子	学校法人 大阪医科薬科大学	

部会員 29 法人 (令和3年3月31日時点)

事業報告

「人材育成グループ」と「人材確保グループ」の2つのグループに分かれて活動していますが、新型コロナウイルスの為、部会活動に多大な影響を及ぼした1年でした。

人材育成グループでは、引き続き大阪府社会福祉協議会の大阪民間社会福祉事業振興基金「アウトリーチ型研修」の助成申請をしたところ、200,000円の交付決定がありましたが、当初計画していた研修が新型コロナウイルスの影響で中止やオンライン研修となり、助成額200,000円に達しなかった為、113,273円返金しました。

人材確保グループでは、今まで人材確保を目的とした協議会主催のイベント「たかつき介護のお仕事フェスタ」を4年連続で開催しましたが、新型コロナウイルスの影響で今年度は中止し、人材確保策としてハローワークとの協力体制を模索しました。2月から試行的にワークサポートたかつきにてミニ面接会を複数回開催することができました。また、昨年度実施した人材確保に関するアンケートの結果を基に、高槻市健康福祉部長寿介護課との意見交換も実施しました。

○人材育成グループ

前述の助成金を活用して計7回にわたって研修を実施し、延べ369名の会員が参加されました(詳細は別表にて記載)。また、昨年度に引き続き今年度も居宅介護支援部会等他部会と協働で研修を企画し、会員のニーズに広く応じた研修を企画しました。

当グループとしては「高槻市研究発表会」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響やオンラインでの研修も困難であると判断し中止しました。次年度以降の研究発表会に繋がる研修内容を検討した結果、「介護職員ステップアップ研修」をオンラインで開催し、業務の見直しを研究という視点で見ること、質の高い研究発表や質の高いサービス提供に繋がりました。

(別表 アウトリーチ型研修実績報告)

	研修内容	研修対象者	日程	参加人数
第1回	災害対策 WEB 研修 介護×防災 (防災対策部会)	高槻市内 事業所職員	令和2年 8月27日(木)	37名
第2回	ZOOMの使い方研修 (居宅介護支援・在宅サービス・地域包括ケアシステム部会)	高槻市内 事業所職員	令和2年 9月29日(火)	26名
第3回	介護現場でのICT活用法 (居宅介護支援部会)	高槻市内 事業所職員	令和2年 11月11日(水)	31名
第4回	患者・利用者と地域医療をつなぐ 在宅介護の役割について (在宅サービス部会)	高槻市内 事業所職員	令和2年 11月17日(火)	30名
第5回	認知症ケア研修 ① 認知症ケアの「これまで」と「これから」 ② 認知症の症状について ③ 認知症の人の家族支援 ④ 認知症の人の体験に焦点をあてたケア ⑤ 傾聴することの意味とその方法 (認知症支援部会)	高槻市内 事業所職員	令和2年 12月7日(月) ～12月11日(金) (計5日間)	延べ 202名
第6回	介護職員ステップアップ研修 「一業務の見直しを研修の視点でみてみよう」 (介護人材育成部会)	高槻市内 事業所職員	令和3年 1月18日(月)	22名
第7回	コロナの今とこれから ～高齢者への影響・感染対策など～ (居宅介護支援部会)	高槻市内 事業所職員	令和3年 3月24日(水)	21名
			参加者合計	369名

○人材確保グループ

人材確保グループでは、今まで4年連続で「たかつき介護のお仕事フェスタ」を開催しましたが、新型コロナウイルスの影響で今年度は中止しました。人材確保策としてハローワークとの協力体制を模索する中で、2月から試行的にワークサポートたかつきにてミニ面接会を6回開催することができましたので、次年度にはミニ面接会を多くの協議会会員が活用できるシステムを作る為の経験を得ることができました。また、ハローワーク茨木が主催する介護セミナーに、介護職員としての体験談を話す講師を派遣し、介護の仕事の魅力をアピールし、介護人材のすそ野拡大に努めました。

昨年度実施した「介護人材確保対策に係るアンケート」の結果を基に、高槻市健康福祉部長寿介護課との意見交換を複数回実施し、介護現場の状況を数値化し、人材確保に向けた要望書を提出しました。

部会会議報告

年 月 日	内 容
令和2年5月 令和2年7月	新型コロナウイルスの影響により中止
令和2年8月11日	高槻市健康福祉部長寿介護課長と介護人材育成部会長との協議 介護人材確保対策に係るアンケートに結果について
令和2年9月18日	<育成 G> アウトリーチ型研修の内容検討 <確保 G> 「たかつき介護のお仕事フェスタ」開催の可否を検討 「合同企業面接会inたかつき」の準備 ハローワークとの協力体制づくり
令和2年10月13日	高槻市介護保険事業者協議会理事会にて、高槻市健康福祉部長寿介護課との意見交換時に「介護人材に関する要望書」を提出
令和2年11月13日	<確保 G> 「合同企業面接会inたかつき」の準備 「ワークサポートたかつき」との協力体制づくり
令和2年11月19日	<育成 G> アウトリーチ型研修の開催準備
令和2年11月20日	「合同企業面接会inたかつき」 介護求人関連ブースに高槻市介護保険事業者協議会として出展
令和3年1月15日	<育成 G> アウトリーチ型研修の開催準備 ※1/15は会議開催せず、1/18までの期間 随時開催 <確保 G> 「ワークサポートたかつき」との協力体制進捗確認
令和3年1月18日	アウトリーチ型研修の開催 「介護職員ステップアップ研修 ー業務の見直しを研究の視点で見ようー」
令和3年2月19日	ハローワーク茨木 2月介護セミナー 介護職員体験談 講師派遣
令和3年3月19日	<全 体> 令和2年度事業報告、令和3年度事業計画のまとめ <育成 G> アウトリーチ型研修の反省 <確保 G> 「ワークサポートたかつき」との協力体制進捗確認

令和2年度 防災対策部会 事業報告

部会役員名簿

役職名	氏名	法人名	備考
部会長	田中 章徳	特定非営利活動法人高槻まごころ	
副部会長	坂本 鉄併	株式会社チャーム・ケア・コーポレーション	
幹事	林 佳美	学校法人大阪医科薬科大学	
幹事	宮田 律子	学校法人大阪医科薬科大学	
幹事	上戸 照美	社会医療法人 仙養会	
幹事	田村 健人	社会医療法人 仙養会	
幹事	小笠 孝治	株式会社ケンモク	
幹事	中谷 翔太	社会福祉法人 恭生会	
幹事	立石 千尋	株式会社エルケア	
幹事	溝渕 麻衣	株式会社 GDA	

事業報告

協議会総会において防災対策部会として承認され、部会としての活動を始めました。

新型コロナの影響により、思うような活動がなかなかできない中、7月より関西大学社会安全学部の近藤先生並びにゼミ生さんに防災対策部会の取り組みに参加していただくこととなり、毎月の幹事会には大学よりどなたかが、必ず参加してくださっています。

取り組みの成果としましては、8月、3月に研修を行いました。また、協議会会員の皆さんに、防災に対する意識アンケートを行い、3月の研修内で近藤先生からアンケート結果の報告と分析をして頂きました。

それと、協議会にて防災備蓄品を購入する事になりましたので、協議会会員の皆さんにアンケートを取ったうえで、購入するものを理事会に提案し、承認いただきました。

月別活動報告


	防災対策部会活動	内 容
4月	ミーティング開催	部会に向けての取り組み
5月	ミーティング開催	部会に向けての取り組み
6月	幹事会開催	8月研修に向けて
7月	幹事会開催	8月研修に向けて
8月	Zoomにて幹事会開催並びに研修を行う	研修参加者21名
9月	Zoomにて幹事会開催	8月研修振り返り
10月	Zoomにて幹事会開催	防災備蓄品について。アンケートについて
11月	幹事会開催	防災備蓄品について。アンケートについて
12月	Zoomにて幹事会開催	アンケート結果分析
1月	Zoomにて幹事会開催	3月研修に向けて
2月	Zoomにて幹事会開催	3月研修に向けて
3月	幹事会開催並びに研修を行う	研修参加者27名

監 査 意 見 書

2020年度 高槻市介護保険事業者協議会の業務執行状況及び会計の収入
支出状況につき、その関係帳簿並びに証憑書類を対照監査いたしましたところ、
業務の執行、金銭の出納は的確に処理されていることを認めます。

令和 3 年 5 月 13 日

高槻市介護保険事業者協議会

監査 上 田 招 

監査 何 井 学 